

15. 旧日本軍の関与、強制性

フェイスブック掲載日 2021/9/10

今日のしんぶん赤旗に、中学・高校の歴史教科書の記述について、「従軍慰安婦」の「従軍」の文字を削除させるなど、政府の圧力により書き換えさせたことが報道されています。ほかにも朝鮮人の「強制連行」「強制労働」も適切ではないと閣議決定しています。旧日本軍の関与、強制性の否定が狙いですが、未来を担う子供たちに真実を教えず、誤った理解を植え付ける政府のこんなやり方、許してはなりません。私は今、宇治の旧火薬庫や火薬製造所の歴史を調べていますが、いろいろな場面で軍の関与、強制性に出くわします。

たとえば、火薬庫をつくったとき、黄檗山万福寺の寺領や柳大明神(五ヶ庄の許波多神社:こはたじんじゃ)の土地を強制的に取り上げましたし、火薬製造所の土地は、土地所有者を一カ所に集めて、一斉に所有権移転させ、結果、わずかな期間に所有権移転が完了したと言われています。

宇治発電所というのが宇治塔の島の東側、宇治上神社付近にあり、今も現役で活躍していますが、私にとって非常に気がかりな所です。この発電所は、関西電力(株)の前身である宇治川電気(株)が1913(大正2)年に設立した発電所ですが、古い資料を調べていると、その設計段階から軍の関与が濃厚にあったらうと思われれます。実は今日、宇治発電所の写真を撮ろうと現地に出かけました。残念ながら中には入れず、余水排出口付近の写真を撮ってきました。まともればアップしたいと思います。



お昼ご飯は、久しぶりに宇治橋通りの川魚専門店「鮎栄」特上うなぎ弁当を、塔の島で食べました。ご飯の下にもうなぎがかくれていました！

